



医療安全管理室

発刊 2023年2月 Vol.47

医療安全推進情報 広報「安進くん」

<医療安全管理研修会>

安全文化の醸成!

令和4年11月18日～12月11日までWEB上で第2回医療安全管理研修会を実施しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合研修は中止し、すべての職員さんに日本医療機能評価機構 PSP 教育動画を視聴してもらう形式の研修としました。内容は、『医療現場に必要な心理的安全性とは』のテーマで614名(95%)の方々に視聴いただきました。アンケート調査を実施し、回答者は614名(回答率100%)、結果は、良く理解出来たが289名(47%) 理解出来たが298名(49%)という結果となりました。

研修を視聴した職員さんからは、とても良い内容の研修だったとの意見が多かったです。良いことも悪いことも言い合える、意見を出し合える組織に、1人1人が意識して、みんなで変えていけるといいと思います。

今後も職員のみなさんに興味を持って受講してもらえる研修を企画していきたいです。皆様のご参加、ありがとうございました。

記述意見は後日まとめ、みなさんに報告すると共に、今後の医療安全活動や研修企画に活かしていきたいと考えます。

<医療安全活動>

危険予知トレーニングを実施しました

看護師を対象に危険予知トレーニングを実施しました。人的因子、環境的因子にわけ、それぞれ沢山の意見・対策案が抽出されました。

個々の危険予測の力をいかに高められるかが転倒転落防止の鍵を握ります。定期的なKYTを行うことで、転倒転落や偶発事故を予防していきましょう。

万一事故が起きてしまった場合、事故に至った背景を含めて事例を分析し、対策に活かすことがとても重要です。患者さんが安全に療養生活を送れるよう、引き続き職員一同心がけていきましょう。



公益社団法人静岡県病院協会のWeb研修が実施されました

令和4年度第5回医療安全推進研修会として、静岡県病院協会のWeb研修「トラブルを未然に防ぐカルテの書き方」(講師 弁護士法人御堂筋法律事務所 弁護士・医師 山崎 祥光 氏)を実施しました。当日の参加者は29名であり、アーカイブ視聴者は約60名の参加となりました。

皆さんの医療安全に対する意識の高さがうかがわれました。

沢山のご参加、ありがとうございました。

<教えて! あなたの職場の医療安全> =薬剤部=

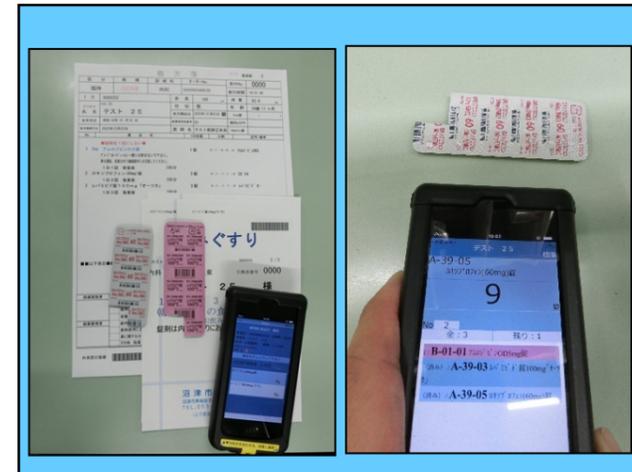
日頃より薬剤部の業務に対してご協力ありがとうございます。
今回は調剤室業務でどのように安全管理を行なっているかを紹介します。

- <処方監査> 医師の発行した処方箋の内容に問題がないかを確認します
- <調剤> 処方箋に基づいて薬を取り揃えます
- <薬剤鑑査> 調剤者とは別の者が、取り揃えた薬に誤りがないかを鑑査します

◆薬剤部では調剤室業務時にPDA端末を使用することを必須としています
PDAとは、様々な情報を記録できる小型情報機器のことです。

医療現場では患者や薬品などの誤認防止のために活用されています。

調剤・薬剤鑑査時



薬品補充時



薬剤部ではPDA端末を用いたバーコード認証を行っており、薬品と数量に関する思い込みによるエラーを未然に防ぐシステムを活用しています。

調剤室業務は処方箋通りに薬を取り揃えるだけでなく、処方箋の内容を監査して、用法用量・相互作用・配合変化・副作用・投与禁忌等に問題がないことを確認する必要があります。

そのため時間を必要とする業務でもあり、ご迷惑をお掛けしてしまうことがありますが、安心安全な医療を提供するために今後ともご協力をお願い致します。